

平成27年1月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,658,966	194,067	1,960,485	73.7%	698,481		
1. 営業収益	2,309,761	191,009	1,929,624	83.5%	380,137		
1. 給水収益	2,280,090	190,379	1,922,035	84.3%	358,055		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,671	631	7,590	25.6%	22,081		
2. 営業外収益	348,350	2,994	30,046	8.6%	318,304		
3. 特別利益	855	64	815	95.3%	40		
9. 水道事業費用	2,805,309	69,276	1,193,622	42.5%	1,611,687	1,350,377	48.1%
1. 営業費用	2,105,784	69,043	672,290	31.9%	1,433,494	828,928	39.4%
1. 原水及び浄水費	459,804	24,085	256,963	55.9%	202,841	314,246	68.3%
2. 配水費	279,782	21,187	164,424	58.8%	115,358	203,971	72.9%
3. 給水費	105,465	7,406	72,507	68.8%	32,958	81,260	77.0%
4. 受託工事費							
5. 業務費	119,465	9,527	89,403	74.8%	30,062	115,419	96.6%
6. 総係費	143,346	6,837	88,992	62.1%	54,354	114,031	79.5%
8. 減価償却費	955,368				955,368		
9. 資産減耗費	42,554				42,554		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	285,571		128,092	44.9%	157,479	128,092	44.9%
3. 特別損失	393,954	233	393,240	99.8%	714	393,357	99.8%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	1,674,270	10,870	194,778	11.6%	1,479,492		
1. 企業債	951,100		57,600	6.1%	893,500		
2. 負担金・補償金	216,665	2,090	62,729	29.0%	153,936		
3. 補助金	193,678	6,534	27,255	14.1%	166,423		
4. 出資金	298,496		30,940	10.4%	267,556		
5. 加入金	14,331	2,246	16,254	113.4%	△ 1,923		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	2,703,401	40,687	786,783	29.1%	1,916,618	1,446,755	53.5%
1. 建設改良費	2,092,702	40,687	483,545	23.1%	1,609,157	1,446,755	69.1%
1. 取水施設整備費	231,341		59,673	25.8%	171,668	140,173	60.6%
2. 浄水施設整備費	165,929		58,731	35.4%	107,198	156,090	94.1%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	40,687	365,140	21.6%	1,327,332	1,148,925	67.9%
6. 管理施設整備費							
7. 消防設備整備費	2,960				2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費							
2. 企業債償還金	610,699		303,238	49.7%	307,461		
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	1,469	28,006	74.7%	9,507		
①有収水量	8,147,300	676,227	6,836,116	83.9%	1,311,184		
②供給単価	279.86	281.53	281.16	100.5%	△ 1.30		
③給水原価	258.40	102.10	117.08	45.3%	141.32		
人件費	232,125	15,234	197,617	85.1%	34,508		
1. 収益的収支	199,089	13,187	168,983	84.9%	30,106		
1. 職員給与費	194,943	12,864	166,383	85.3%	28,560		
2. 特別職(報酬、賃金等)	4,146	324	2,600	62.7%	1,546		
2. 資本的収支	33,036	2,047	28,634	86.7%	4,402		
* 職員給与費	227,979	14,911	195,017	85.5%	32,962		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.5%	6.8%	8.7%				
2. 全職員	10.0%	7.8%	10.1%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	40,139,955	490,295	・みなし償却修正 ・小規模水道資産評価
*減価償却累計額	16,199,600	16,712,744	513,144	
B. 流動資産	2,747,729	3,063,805	316,076	
1. 現金預金	2,277,801	2,462,419	184,618	
2. 未収金	320,868	242,923	△ 77,946	
3. その他	149,059	358,463	209,404	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
C. 繰延勘定				H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	1,158,704	781,504	
1. 営業費用		637,453	637,453	
2. 営業外費用		128,092	128,092	
3. 特別損失	377,200	393,160	15,960	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	47,412,012	1,587,876	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,894,163	65,679	
1. 企業債	10,404,784	10,470,463	65,679	
2. 引当金	423,700	423,700		
F. 流動負債	1,086,210	503,984	△ 582,226	
1. 企業債	606,244	307,458	△ 298,786	
2. 未払金	313,626	47,476	△ 266,150	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	86	△ 124,838	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	148,964	107,548	
①下水道預り金				
②水道料金預り金	23	6	△ 17	
③その他	41,393	148,958	107,565	・仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,941,689	278,805	
1. 長期前受金	8,662,885	8,941,689	278,805	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	2,510,352	3,049,548	539,196	
H. 資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	
1. 自己資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799		
1. 資本剰余金	14,922	14,922		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878		
K. 水道事業収益		1,820,731	1,820,731	
1. 営業収益		1,792,040	1,792,040	
2. 営業外収益		27,930	27,930	
3. 特別利益		760	760	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	47,412,012	1,848,267	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	261.03	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	111.99	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	259.57	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	70.13%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	84.76%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	607.92%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	488.59%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 1月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,194	303,739	302,500	302,230	1,239	1,509
2 調定水量	m ³	670,622	6,790,616	6,836,200	6,814,410	△ 45,584	△ 23,794
3 調定料金(税抜)	円	176,276,750	1,784,455,560	1,785,900,000	1,785,580,458	△ 1,444,440	△ 1,124,898
4 口振加入件数	件	25,294	254,651	-	254,644	-	7

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,099	-	83,722	△ 623
6 給水件数	件	30,066	-	29,887	179
7 開栓処理件数	件	175	2,471	2245	226
8 閉栓処理件数	件	168	2,426	2230	196
9 給水工事設計審査	件	66	730	794	△ 64
10 給水工事竣工検査	件	70	871	826	45
11 経年メーター交換	件	456	3,905	3,418	487
12 メーター口径変更	件	6	53	84	△ 31
13 月末停止件数	件	△ 4	114	108	6

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	200,166,334 円	89.59 %	188,511,635 円	89.95 %
15 過年度分	4,199,232 円	97.81 %	4,517,656 円	97.65 %
16 全体(計)	204,365,566 円	-	193,029,291 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	6	104	113	217

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	148/154	0/0	73/77	0/0	28/28	0/0
契約締結	一般	24	0	24	0	0
	指名	81	0	36	0	6
	随契	43	2	13	0	19
	合計	148	2	73	0	23

※入札中止 当月 0件:累計 3件/入札不調 当月 0件:累計 6件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	43	6	・布設 2、布設替 2、移設 2件
中間検査	0	0	
合計	43	6	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
仕事始め式	5日	仕事始め
第10回安全衛生委員会	6日	行事計画及び日程調整
部長等連絡調整会議	6日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等
第10回事業調整会議	6日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
第10回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	7日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
1月定期議会	16日	第4号補正予算(徴収漏れ源泉所得税関係)
水道プースター会議	21日	水道事業会計事務
第10回経営分析会議	23日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
例月出納検査	27日	月例監査
指名委員会	-日	
入札	-日	
緊急メールの発出	-日	漏水16、水質3、破損2、訓練1 計22

特記事項

1.1 月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益(税込み)は190,379千円で、12月期に比べて7,050千円の増で、予算執行率は84.3%、対前年同月比(税抜き)では1,125千円の減、営業外収益は2,994千円で、事務手数料等、特別利益は徴収漏れ源泉所得税の返還分64千円となっています。

当期の営業費用は69,276千円の執行で、12月期に比べて17,433千円の減、累計額は672,290千円、予算執行率は31.9%となっています。特別損失は、放射能検査料168千円、徴収漏れ源泉所得税の納付分64千円を執行しています。

②資本的収支

当期の収入は、工事負担金2,090千円、配給水施設整備補助金6,534千円、水道加入金が2,246千円となっています。加入金累計は16,254千円で、予算執行率は113.4%となっています。

支出は、40,687千円で、工事費請負費は、配水管布設事業に1,871千円、配水管布設替事業に9,752千円、配水管移設事業に10,530千円、緊急時用連絡管整備事業に12,472千円を、機器整備費は、メーター購入費に443千円を、調査設計費は、緊急遮断弁事業に3,348千円を執行しています。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品で1,469千円を執行しています。

2. 今月の出来事

(1) 指定店会議を開催

指定店会議を1月26日に開催しました。会議は、市内指定店を対象として、平成27年4月から適用される水道工事負担金制度の変更内容について説明を行いました。水道管が布設されていない地区で給水申込みがあり配水管を布設する場合、これまでは自家用住宅等について負担金の徴収はありませんでした。また、事業者等についても水道料金の額に応じて最大で50%の負担軽減を図っていました。今回の改正では、これまでの軽減措置を見直し、受益者の負担均衡を図るため給水申込みのあった方すべてに、等しく負担していただくこととなります。ただ東日本大震災等による定住希望者も多く見込まれることから、激変緩和措置として、平成27年度から4年間は工事負担金の軽減を行います。

(2) 災害訓練を実施

1月期の災害訓練を1月7日に実施しました。今月は浄水場運転管理業務を受託している明電舎が各浄水場等を管理している遠方監視システムについて、タブレット端末の操作方法を明電舎職員から説明を受けました。

(3) 安全運転者講習会を開催

安全運転講習会を1月14日に開催しました。登米警察署松木交通課長を講師に管内の事故発生状況やその特徴、そして事故防止には、日頃から細心の注意を払い、油断せず、運転することが大切なことと、お話しいただきました。

(4) 給水拠点訓練を実施

給水拠点訓練を1月20日に豊里総合支所で実施しました。支所・事業所職員、水道プースター・水道業務受託業者等13名が参加、訓練の基本となる給水タンクの組み立てから給水までの一連の作業を行いました。



(5) 凍結件数が激減

1月の凍結修理件数は37件で、前年の78件に比べ41件の減少となっています。暖冬、あるいは防災行政無線による広報活動や昨年に引き続き配布している凍結防止チップの効果も一定程度あったものと考えられ、今後もチップの配布を継続、凍結防止事故の軽減を図っていきます。



(6) 登米庁舎防災訓練の実施

登米庁舎防災訓練が1月29日に実施されました。庁舎2Fで火災が発生したとの想定で、事業所職員も消火活動、避難誘導活動、安全防護活動を実施しました。その後、消火器を使った防火訓練が行われました。



平成27年 1月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	834,229	8,625,032	8,616,470	8,979,749	8,562	-354,717
総配水量	797,828	8,191,400	8,147,180	8,410,767	44,220	-219,367
1 有効水量	748,850	7,452,805	7,328,150	7,519,330	124,655	-66,525
(1)有収水量	676,227	6,836,116	6,790,400	6,859,786	45,716	-23,670
(2)無収水量	72,623	616,689	537,750	659,544	78,939	-42,855
2 無効水量	48,978	738,595	819,030	891,437	-80,435	-152,842
(1)漏水量	48,556	732,335	814,000	887,527	-81,665	-155,192
(2)その他無効水量	422	6,260	5,030	3,910	1,230	2,350
3 有収率	84.76	83.45	83.35	81.56	0.10	1.89

※当月期の最大配水量は、9日(金)に記録した【27,030m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	4	80,296	2	7,290	91,370	49%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	4	64,444	6	58,731	9,814	93%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	50	783,785	43	178,646	540,734	64%
エ 繰越事業	12	274,769	1	32,915	11	238,878	2,976	99%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定栓数: 7)	東和町水系 (測定栓数: 4)	石越町水系 (測定栓数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定栓数: 1)
平均	0.55	0.43	0.43	0.56	0.40
最低	0.50	0.26	0.23	0.45	0.37
最高	0.64	0.60	0.58	0.68	0.45

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H27.1.23	<0.6	<0.6	米谷水系浄水場	H27.1.23	<0.6	<0.8
石越浄水場	H27.1.22	<0.5	<0.6	楼台浄水場	H27.1.23	<0.6	<0.5
大萱沢浄水場	H27.1.23	<0.5	<0.6	合の木浄水場	H27.1.22	<0.7	<0.6
米川水系浄水場	H27.1.23	<0.7	<0.7	大綱木浄水場	H27.1.22	<0.7	<0.8
錦織水系浄水場	H27.1.23	<0.6	<0.9	—	—	—	—

特 記 事 項

1 下り松取水塔周辺浚渫作業実施

毎年実施の下り松取水塔取水口付近の浚渫(土砂排除)作業を6日(火)から9日(金)までの4日間で明電舎・(株)アイ・ケー・エス共同企業体で行いました。

浚渫方法は、取水口付近に堆積した土砂を採砂用台船に放出用配管を連結し汚泥排水ポンプで、取水口下流へ放出するという方法で行い、今回堆積した土砂排除量は約1,200m³になりました。

現在行っている方法は、河川管理者の指導を受け実施しているもので、河川外処分とすることは多額の費用が発生することから経費の節減策として、現方法で実施しています。



2 緊急用連絡管整備事業の進捗状況

地震等の災害時において、水道水を融通することを目的として緊急時用連絡管の整備を行っており、今年度は、米川水系浄水場(東和町米谷字根廻から米谷字細野地内までと米川字新土手前地内)までの管路整備を実施しています。

現在の進捗状況は、計画布設延長2,686mに対し2,756m完成しております。また、昨年度までに布設した管路の舗装本復旧工事も併せて終了しております。



3 北上川の原水水質の「pH値」高めに推移

北上川の水質「pH値※」が、1月初旬頃より「7.7~8.0」と高めの傾向が続いています。保呂羽浄水場の水源である北上川は、環境基準では水道2級に該当し基準値は6.5~8.5です。

高pHは基準内であっても浄水処理への影響が大きく薬品注入によるpH調整が必要となります。現在は薬品注入とともに、気象条件を含め河川上下流の状況などの情報を注視しながら水質の安定を図っています。

このような状況は平成22年2月末、平成25年2月~3月にも見られましたが原因は特定されませんでした。(※pH値は酸またはアルカリ性の強さを示すもので7が中性)

4 保呂羽浄水場F1流量計に設置された超音波流量計測定結果について

12月26日から1月5日までの計測結果は、有収率に影響するような差異は認められませんでした。

5 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

1月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管46箇所、空気弁等4箇所、消火栓1箇所、給水管62箇所、止水栓7箇所、メータ22箇所、宅内3箇所)145件の漏水を発見しています。

6 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。